ふかまちのまど

第二五号　一五年八月一日
発行元　深町連合町内会
連絡先　☎六三―三八八二

連合町内会活動報告

盆行事についてのご案内

連合町内会副会長　平岡　博司

開催日　八月十五日（土）
深小学校　校庭にて
（雨天時は体育館にて実施）

行事内容・時間

○太鼓踊り（壮青会）
・町内各所　十時～
・・千川神社　十八時～
・小学校校庭　十九時四十分～

○開会　小学校校庭　十九時三十分
・・開会の辞・新仏様紹介、黙祷
・・連合町内会会長挨拶　二十時
○盆踊り　二十時
○やっさ踊り　二十時四十分
○お楽しみ抽選会　二十一時

◇壮青会・女性会・子ども会の協力にて夜店を出店致します。

◇盆踊りの輪に皆様ご参加ください。踊られた方には、夜店商品券を配布。奮っての参加お待ちしてます。（大人：五十名、小中学生：五十名）◇浴衣着用者（踊り参加）は優先的に配付します。

☆お楽しみ抽選会の申し込みは〝午後八時〟までに受付で行ってください。申し込みのない方はお楽しみ抽選会の参加権利がありません。

▲▲

第十一回市民ゲートボール大会に出場

ゲートボール担当　原　勇吉

六月二十一日やまみ運動公園にて、開催要旨として、健康づくりと安全で身近なスポーツを楽しむ活動の場を広げる為に開催されました。

深町は男子・女子混合チームで出場しました。深町尚寿会のメンバーでは編成出来ず、林洋祐さん、屋敷八千代さんに出場して貰い、何とか出場し奮戦しました。

対戦成績は次の通り。

◇第一試合　深町　八点　沼田東A　二二点
強豪チームとの対戦で苦戦。
第一ゲートは難なく通過したが昨夜の雨でボールが転がらずリズムに乗れず敗退。

◇第二試合　深町　九点　本郷西　十四点
第二試合は相手チームとのスキルの差は無く前半は良かったが後半崩れ惜しくも二連敗。

試合の成績は良くなかったが、欠場する事なく参加出来た事は良かったです。又、林、屋敷さんに出場して貰った事により、ゲートボールの楽しさを体験して貰った事と思いますので、次期大会に活かし来年度は頑張っていきたいと思います。

出場下さいました、選手の皆さん有り難うございました。

追記、本大会の出場チーム数は二十一地区中男女チームでした。

▲▲

町民会館だより

町民会館改修工事のお知らせ

町民会館長　林　洋祐

皆様には、町民会館の使用において大切に、大事に利用頂き有り難うございます。障子の破れ等も補修下さり感謝申し上げます。

さて、標記の件を七月末から十月末までの予定で行います。駐車、工事資材などでご不便をお掛け致しますがご協力下さい。工事工程表は玄関のドアに掲示致しております。

期間中使用方法に制限はありません。今までと同様にご使用下さい。何か有りましたら私までご連絡下さい。

☎　林洋祐　六三―五三一一

▲▲

「ふかまちのまど」　ホームページのアドレスは
http：//www. jcat. ne. jp /~fuka/top. html

下組町内会だより

下組町内会親睦旅行行先呉

下組町内会長　迫　博明

下組町内会の親睦旅行を六月二十一日（日）早朝の雷雨！心配しながら、七時三十分出発。一路最初の目的地、大和ミュージアム・てつのくじら館へ。

十分の一の戦艦「大和」他や展示物、潜水艦内一部見学やキライ撤去ビデオを見学。その後、停泊している潜水艦を見学。

昼食後、酒工房せせらぎへ。工房の歴史ビデオ他を鑑賞、銘酒の試飲。

早朝の雷雨がうそのよう。皆さんの行いが良いのか？天気は回復。親睦を深めることができ、楽しい旅行でした。お世話をしてくださいました役員の方、旅行に参加して頂いた方、有り難うございました。

▲▲

深小だより

一学期を終えて

深小学校長　赤羽　邦子

先日は、台風接近により一日早い終業式を行い、一学期を終えました。今年度も八十二人の子供たちが主体的に学び、輝く学校づくりを目指しています。

四月には、六年生がリーダーとなり学校生活がスタートしました。これまで全校で大切にしてきた「時を守る」「掃除を時間いっぱい一生懸命する」という伝統が、四月当初受け継がれていることに感動しました。六年生が下級生に声をかけながら、全校で時間いっぱい掃除をする姿から、やさしさと頼もしさを感じました。そんな日々の生活を土台にして、五月の運動会を迎えました。運動会ではそれぞれの学年の力、全校が合わせる力の素晴らしさを子供たちは十分に発揮することができました。「届けよう、八十二人の深っ子パワー」に向けて、一人一人が一生懸命頑張る姿にまた一歩成長を感じることができました。

六月からは、校内研究授業が始まり、教職員も教育研究を重ねながら、子供たちの学力向上に努めてきました。「子供たちが深く物事を考える」「より良い判断ができる」よう、授業はもちろん、日常の生活でも指導を重ねています。

深小学校の子供たちの可能性をさらに伸ばしていけるよう、引き続き教職員も研鑽を重ねていきたいと思います。夏休み中は、子供たちがお世話になると思いますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

▲▲

深町各種団体八月行事予定

◆連合町内会
▼盆行事　十五日
◆中組町内会
▼二十三夜行事　二三日
◆子ども会
▼三原やっさ踊り出場　八日
◆小学校・幼稚園
▼全校登校日・やっさ練習　四日
登園日㈮　七日
▼やっさ練習
▼PTA環境整備作業　二三日
▼職場体験学習　二四～二八日
▼全校登校日・登園日㈮　二六日
◆如水館中学・高校
▼創立七五周年記念行事　一日
▼前期夏季講習（中学）　三～六日
▼中期夏季講習（高校）　三～七日
▼SA学習合宿（高校）　四～六日
▼後期夏季講習（高校）　十七～二一日
▼中期夏季補習（中学）　十八～二一日
▼後期夏季補習（中学）　二五～二八日

子ども会だより

やっさ踊り出場

子ども会長　寺田　達哉

いつも子ども会への温かいご支援、誠にありがとうございます。

五月に行われました町民運動会では、深町壮青会会長の西本薫様をはじめ、壮青会の皆様のご指導を賜り、六年生が深町伝統の太鼓踊りを立派に披露することができました。六年生にとりましても、小学校生活の良き思い出となったと思います。どうもありがとうございました。

さて、今年も三原やっさ祭りの季節となりましたが、今年も「子供やっさ踊り」に深小の子供たちと保護者で参加いたします。

昨年は台風の影響で中止となりましたが、今年こそ子供たちの元気いっぱいの姿をぜひ見ていただきたいと思います。

八月八日（土）夕刻よりスタートしますので、現地で、またテレビで「深町子ども会チーム」にご声援をよろしくお願いいたします。

また、やっさ踊りへの出場に際しましては、連合町内会の皆様のご理解と温かいご支援を賜りました事、心より感謝申し上げます。

▲▲

深町子ども を守る会

子どもをみんなで守りましょう

深小の全校登校日は八月四日・二六日です。

○午前十一時二十分頃下校します。

○近くで、遠くで、みんなで見守りましょう。

○あいさつ、声かけをしましょう。

石原太郎左衛門と天草一揆④

大坂府立富田林高等学校
講師　寺沢光世

二、石原家の「譜録」の概要

石原九右衛門信富家は、姓は平氏である。備後国石原村に居住し、在所の名を以て氏とした。初代は石原小二郎景直といい、のち太郎左衛門と名乗った。その子が太郎左衛門景信である。妻は村上越中守助安の娘で、初め小早川隆景に仕え、「方々御供仕候、高麗御陣之御供をも被仰附候へとも軍功不詳候」とある。次いで小早川秀秋に仕えたが、秀秋が改易になり、家臣が悉く離散したので、「一同二牢人仕、寺沢兵庫頭殿江奉公仕、其後牢人仕、防州三田尻に居住仕」、三田尻で没した。卒年は不明である。景信の兄弟には、磯兼加賀守景綱の後妻と九左衛門景好（小早川藤四郎秀包に仕え、文禄元年朝鮮で討死）、茂兵衛（小早川隆景に仕える）の三人がいた。

太郎左衛門景信には村上越中守助安の娘との間に二人の男子がいた。兄は彦右衛門景安（結城中納言秀康に仕える）、弟は八兵衛重為（泉州岸和田城主岡部美濃守殿に奉公す）である。その妻、卒年月日は不明である。

兄の景安の子は九右衛門信之である。初め秀康の子の高田藩主松平越後守光長に仕え、次いでその正室の広国院附きとなった。広国院は延宝五年（一六七七）八月二二日に江戸で没したが、折しも越後騒動の最中で、その危機を迎えていた。そのため光長は寛永八年（一六三一）の結婚の時に毛利秀就から広国院の供として御裏御付方となった家の者は残らず毛利家に帰るように命じた。九右衛門信之は翌延宝六年（一六七八）四月に江戸を立ち、同年五月に毛利藩に着き、早速近附に仰せ付けられた。最初は御扶持方三人銀五枚であったが、その後高五二石二斗になった。天和三年（一六八三）に嗣子が無いので青木甚兵衛の二男の九郎兵衛を婿養子にしたいと願い、奉書によって許可された。貞享元年（一六八四）五月一〇日死去。

婿養子の九郎右衛門（九郎兵衛）信政は、妻も信之の養女で、実は河野七郎左衛門正通の娘である。信政は貞享元年（一六八四）九月七日に跡目相続を許され、元禄十四年（一七〇一）、黒瀬七兵衛の弟の平七を養子にすることを許された。宝永元年（一七〇四）八月廿三日死去。「譜録」の現当主は九右衛門信富で、実は黒瀬七兵衛政忠の次男である。妻は志道丹宮就保臣の小倉利兵衛定久の娘である。享保十三年（一七一八）、天野与二右衛門の弟（天野弥二右衛門直良の三男）の万吉を養子にしたが、これを返した。妻との間に実子の政之進信がある。「譜録」の系図の線引きは「県庁伝来旧藩記録」が正しく、「毛利家文庫」は間違っている。

二六頁には嘉永五年（一八五二）改訂復刻版の当主として石原太郎左衛門とある。

（次号へ続く）

▲▲

如水館中学高等学校だより

如水館高校に入学して 視野が広がった

如水館高校一年　中川　岳人

私の、如水館へ入学しての第一印象は、「こんなにも視野が広がるんだ!!」という事です。私が生活しているS類のクラスには、自分が今までで気にした事のつまっている仲間がとても多く、本当にて驚きました。新しい仲間と共に過ごしていく内に、新しい知識が増え、見慣れた物でさえ雰囲気が変わって見えるほど、視野が広がりました。

また、友達に誘われて入った生徒会や、初夏から部長を務めさせていただいているソフトテニス部では、先輩や友達に支えられながら、責任のある仕事をやらせて頂き、多くの舞台に立って全体を指揮したり行事を運営することで、既に少し成長したかなという実感が湧いてきました。しかし、まだまだ細かな欠点があり、迷惑かけてしまうこともあります。長いようで短い高校生活を、日々濃密に過ごし、卒業した時に悔いの残らないよう、自分に今できることをしていきたいです。

▲▲

短歌・俳句・詩

中組　仲峠講　竹内ひろみつ

狭き道離合のために避けやれど
　そ知らぬ顔で過ぎる人増え

部屋中が水打ちたごとじっとりと
　梅雨とゆう時季無ければと思ふ

近頃は交配新種の花多く
　色とりどりの紫陽花楽しむ

歩く会にご参加を

歩く会幹事　石井堂熙

久井町中野
〈山陽自動車道最高地点〉

月日　八月十八日（火）
　予備日：八月二十日（木）
行程
八時　上組公民館発（車）
　　土取コミセンより探訪
九時
十時三十分　三河ダムへ
十一時三十分　探訪終了・昼食
十三時　深町帰着（車）

ピッコロだより（多機能型就労支援事業所）

ミニトマトが美味しい

梅雨明けが待たれるこの頃、皆様いかがお過ごしでしょうか？

ピッコロのハウス内では、千日紅やサンビタリア等の花が元気に咲き始めました。また、秋に向けての花や野菜の種まきもピークを迎えております。

深の里では、夏野菜の出荷も始まり、ミニトマト、茄子、キュウリ、ピーマンなどの収穫に追われています。中でも毎年ご好評頂いておりますミニトマト（アイコ、千佳）は今年も美味しく甘く出来上りました。ニチエー各店舗にて取り扱って頂いておりますので、是非ご購入ください。

▲▲

第二中学校だより

中学生になって

三原二中一年　向井　梨紗

私が中学生になって頑張りたいことは、勉強とクラブ活動です。

まず勉強は、小学校とちがってたくさんの教科があり、それぞれ先生もちがうので、先生方の話をよく聞いて、一つ一つ頑張っていきたいと思います。

次にクラブは、バレーボール部に入って、頑張りたいと思います。部活では、先生や先ぱい方の話をよく聞いて、一生懸命頑張りたいと思います。

そして、自分の夢もあきらめたくないし、自分で決めた事は自分でやる、そう言うことを心にひきつめて、部活に取り組みたいと思います。

深小学校は、六年生一クラスしかありませんでした。二中に入って、たくさんの同級生がいるし、たくさんの同級生がいるので、すこしきんちょう感がわくけれど、できるだけ多くの友達を作って、名前も覚えて、みんなと仲良く、一日をたのしく過ごせるようにしていきたいです。

私は、自分から積極的に行動や話をすることが苦手なので、これからは、もっともっと本を読んだりして、もっともっと本を好きになっていけるように毎日努力をし、色々な事にきょうみをもったり、チャレンジしてみたいと思いました。

これから始まる学校生活を有意義に過ごしていく為にも、友達や先生、先ぱい方にきちんとあいさつをし、学校の規則やルールを守り、楽しい中学生ライフを送りたいと思いました。

▲▲

林美樹雄遺作美術展のお礼

林美樹雄遺族代表　林　俊

さる七月七日から一二日まで三原市民ギャラリーで開催いたしました林美樹雄遺作展は一〇〇一名という予想外の入場者数を記録し、無事に終了いたしました。これは深町の皆様を始めとする三原市民の暖かい励ましなくしては達成の到底不可能な数字であり、この点、皆様には厚くお礼を申し上げます。

この度は七〇点ほどの作品を展示いたしましたが、展示をし得なかった作品もまだ数多くありますので、もし体力と気力が続けば、またいつの日にか皆様にそれらをご高覧いただく機会もあろうかと思います。その際にはまたよろしくお願いいたします。

いずれにしてもこの度の個展については、期間中ずっと暖かい眼差しとご支援をいただきましたことを心より感謝いたします。

▲▲

TBG協会だより

福山十一W ターゲット・バードゴルフ大会

福山十一W月例大会が七月四日（土）、福山市松永の常設コースにて行なわれました。

三原TBG協会からは石井張司・船本雄三・金子勝彦の三名が参加しました。

成績は次の通りです。

二人組戦
一位　金子勝彦（和田町）
二位　船本雄三（深町中組）

第五十一回三原市 ターゲット・バードゴルフ大会

第五十一回三原市TBG月例会が七月十九日（日）、深町・城山コースにて行なわれました。

成績は次の通りです。

一位　高崎　修（深町中組）
二位　船本雄三（〃）
三位　谷岡義昭（〃）
ベスグロ　六十七　高崎　修（〃）
ホールインワン　船本雄三（〃）
二人組戦一位　谷岡義昭（〃）
　船本雄三（〃）

次回大会は八月九日（日）

※選手の敬称略

TBG事務局　天木雅之▲▲

石原太郎左衛門と天草一揆④

大坂府立富田林高等学校
講師　寺沢光世

二、石原家の「譜録」の概要

石原九右衛門信富家は、姓は平氏である。備後国石原村に居住し、在所の名を以て氏とした。初代は石原小二郎景直といい、のち太郎左衛門と名乗った。その子が太郎左衛門景信である。妻は村上越中守助安の娘で、初め小早川隆景に仕え、「方々御供仕候、高麗御陣之御供をも被仰附候へとも軍功不詳候」とある。次いで小早川秀秋に仕えたが、秀秋が改易になり、家臣が悉く離散したので、「一同二牢人仕、寺沢兵庫頭殿江奉公仕、其後牢人仕、防州三田尻に居住仕」、三田尻で没した。卒年は不明である。景信の兄弟には、磯兼加賀守景綱の後妻と九左衛門景好（小早川藤四郎秀包に仕え、文禄元年朝鮮で討死）、茂兵衛（小早川隆景に仕える）の三人がいた。

太郎左衛門景信には村上越中守助安の娘との間に二人の男子がいた。兄は彦右衛門景安（結城中納言秀康に仕える）、弟は八兵衛重為（泉州岸和田城主岡部美濃守殿に奉公す）である。その妻、卒年月日は不明である。

兄の景安の子は九右衛門信之である。初め秀康の子の高田藩主松平越後守光長に仕え、次いでその正室の広国院附きとなった。広国院は延宝五年（一六七七）八月二二日に江戸で没したが、折しも越後騒動の最中で、改易の危機を迎えていた。そのため光長は寛永八年（一六三一）の結婚の時に毛利秀就から広国院の供として御裏御付方となった家の者は残らず毛利家に帰るように命じた。九右衛門信之は翌延宝六年（一六七八）四月に江戸を立ち、同年五月に毛利藩に着き、早速遠近附に仰せ付けられた。最初は御扶持方三人銀五枚であったが、その後高五二石二斗になった。天和三年（一六八三）に嗣子が無いので青木甚兵衛の二男の九郎兵衛を婿養子にしたいと願い、奉書によって許可された。貞享元年（一六八四）五月一〇日死去。

婿養子の九郎右衛門（九郎兵衛）信政は、妻も信之の養女で、実は河野七郎左衛門正通の娘である。信政は貞享元年（一六八四）九月七日に跡目相続を許され、元禄十四年（一七〇一）、黒瀬七兵衛の弟の平七を養子にすることを許された。宝永元年（一七〇四）八月廿三日死去。「譜録」の現当主は九右衛門信富で、実は黒瀬七兵衛政忠の次男である。妻は志道丹宮就保臣の小倉利兵衛定久の娘である。享保十三年（一七二八）、天野与二右衛門の弟（天野弥二右衛門直良の三男）の万吉を養子にしたが、これを返した。妻との間に実子の政之進信がある。「譜録」系図の線引きは「県庁伝来旧藩記録」が正しく、「毛利家文庫」は間違っている。

二六頁には嘉永五年（一八五二）の当主として石原太郎左衛門とある。（次号へ続く）

▲▲

如水館中学高等学校だより

如水館高校に入学して 視野が広がった

如水館高校一年　中川　岳人

私の、如水館へ入学しての第一印象は、「こんなにも視野が広がるんだ!!」という事です。私が生活しているS類のクラスには、自分が今までで気にしたの事のつまっている仲間がとても多く、本当にて驚きました。新しい仲間と共に過ごしていく内に、新しい知識が増え、見慣れた物でさえ雰囲気が変わって見えるほど、視野が広がりました。

また、友達に誘われて入った生徒会や、初夏から部長を務めさせていただいたソフトテニス部では、先輩や友達に支えられながら、責任のある仕事をやらせて頂き、多くの舞台に立って全体を指揮したり行事を運営することで、既に少し成長したかなという実感が湧いてきました。しかし、まだまだ細かな欠点があり、迷惑かけてしまうこともあります。長いようで短い高校生活を、日々濃密に過ごし、卒業した時に悔いの残らないよう、自分に今できることをしていきたいです。

▲▲

短歌・俳句・詩

中組　仲峠講　竹内ひろみつ

狭き道離合のために避けやれど
　そ知らぬ顔で過ぎる人増え

部屋中が水打ちたごとじっとりと
　梅雨とゆう時季無ければと思ふ

近頃は交配新種の花多く
　色とりどりの紫陽花楽しむ

歩く会にご参加を

歩く会幹事　石井堂熙

久井町中野
〈山陽自動車道最高地点〉

月日　八月十八日（火）
　予備日：八月二十日（木）
行程
八時　上組公民館発（車）
　土取コミセンより探訪
九時　三河ダムへ
十時三十分　探訪終了・昼食
十一時三十分　深町帰着（車）
十三時

ピッコロだより

（多機能型就労支援事業所）

ミニトマトが美味しい

梅雨明けが待たれるこの頃、皆様いかがお過ごしでしょうか？

ピッコロのハウス内では、千日紅やサンビタリア等の花が元気に咲き始めました。また、秋に向けての花や野菜の種まきもピークを迎えております。

深の里では、夏野菜の出荷も始まり、ミニトマト、茄子、キュウリ、ピーマンなどの収穫に追われています。中でも毎年ご好評頂いております「ミニトマト（アイコ、千佳）」は今年も美味しく甘く出来上りました。ニチエー各店舗にて取り扱って頂いておりますので、是非ご購入ください。

▲▲

第二中学校だより

中学生になって

三原二中一年　向井　梨紗

私が中学生になって頑張りたいことは、勉強とクラブ活動です。まず勉強は、小学校とちがってたくさんの教科があり、それぞれ先生もちがうので、先生方の話をよく聞いて、一つ一つ頑張っていきたいと思います。

次にクラブは、バレーボール部に入って、頑張りたいと思います。部活では、先生や先ぱい方の話をよく聞いて、一生懸命頑張りたいと思います。

そして、自分の夢もあきらめたくないし、自分で決めた事は自分でやる、そう言うことを心にひきつめて、部活に取り組みたいと思います。

深小学校は、六年生一クラスしかありませんでした。二中に入って、たくさんのクラスもあるし、たくさんの同級生がいるので、すこしきんちょう感がわくけれど、できるだけ多くの友達を作って、名前も覚えて、みんなと仲良く、一日をたのしく過ごせるようにしていきたいです。

私は、自分から積極的に行動や話をすることが苦手なので、これからは少しずつでも、自分から進んで、友達にやさしく話しかけたり、積極的に行動ができるようにしていきたいと思います。

それと、私は本を読んだりすることが苦手なので、これからは、もっともっと本を読んだり、もっともっと本を好きになっていけるように毎日努力をもったり、色々な事にきようみをもったり、チャレンジしてみたいと思いました。

これから始まる学校生活を有意義に過ごしていく為にも、友達や先生、先ぱい方にきちんとあいさつをし、学校の規則やルールを守り、楽しい中学生ライフを送りたいと思いました。

▲▲

林美樹雄遺作美術展のお礼

林美樹雄遺族代表　林　俊

さる七月七日から一二日まで三原市民ギャラリーで開催いたしました林美樹雄遺作展は一〇〇一名という予想外の入場者数を記録し、無事に終了いたしました。これは深町の皆様を始めとする三原市民の暖かい励ましなくしては達成の到底不可能な数字であり、この点、皆様には厚くお礼を申し上げます。

この度は七〇点ほどの作品を展示いたしましたが、展示をし得なかった作品もまだ数多くありますので、もし体力と気力が続けば、またいつの日にか皆様にそれらをご高覧いただく機会もあろうかと思います。その際にはまたよろしくお願いいたします。

いずれにしてもこの度の個展については、期間中ずっと暖かい眼差しとご支援をいただきましたことを心より感謝いたします。

▲▲

TBG協会だより

福山十一W ターゲット・バードゴルフ大会

福山十一W月例大会が七月四日（土）、福山市松永の常設コースにて行なわれました。

三原TBG協会からは石井張司・船本雄三・金子勝彦の三名が参加しました。

成績は次の通りです。

二人組戦
一位　金子勝彦（和田町）
二位　船本雄三（深町中組）

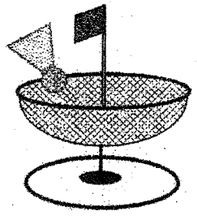
第五十一回三原市 ターゲット・バードゴルフ大会

第五十一回三原市TBG月例会が七月十九日（日）、深町・城山コースにて行なわれました。

成績は次の通りです。

一位　高崎　修（深町中組）
二位　船本雄三（〃　〃）
三位　谷岡義昭（〃　〃）
ベスグロ　高崎　修（〃　〃）
ホールインワン　船本雄三（〃　〃）
二人組戦一位　谷岡義昭（〃　〃）
　船本雄三（〃　〃）

次回大会は八月九日（日）

※選手の敬称略

TBG事務局　天木雅之▲▲